

≡≡≡主な行事日程≡≡≡

4/11 19 時
役員会 10 名
4/13 11 時
会費集計及び役員会(女性部 10 名)
4/25 8 時、10 時
資源回収 9 名
防災機器点検 2 名
4/29
定期総会中止
5/9
役員会(書面にて協議報告)
5/17
連合会大運動会中止
5/20
北区青少年滝野川東地区委員会
(延期)
青少年総会(延期) 会長
5/23 8 時、10 時
資源回収、防災機器稼働点検訓練
5/25 10 時
谷戸さんさん児童遊園、花壇整備
(ボランティア 8 名)
6/8 10 時
滝東地区連合自治会総会 会長
6/12 10 時
滝野川東地区青少年総会 会長
6/13 19 時
役員会、夜間パトロール
6/17 19 時
滝野川東青少年推進委員会
6/19 15 時半
滝東自治会連合会会長会 会長
6/24 19 時
滝東青少年健全育成懇談会
6/27 8 時、10 時
資源回収、防災機器稼働点検訓練

《自治会ポスティング第二弾》

私たちは、新型コロナウイルス緊急事態宣言の延長を受けて 3 密やマスク、手洗い、不要不急の外出の自粛を余儀なくされておりストレスが募るばかりです。しかし、この状況下では新型コロナウイルスを絶滅させるよりは、新薬やワクチン等の研究・開発により、死亡者を防ぎ、新型コロナウイルスの抗体を携えた人類と共生する日が迎えらる事が最も重要だと考えております。

歴史を思い返せば 100 年前(1918 年から 1919 年)スペイン風邪(新型インフルエンザのパンデミックが第 1 波～3 波が押し寄せた)は全世界の死者数は殆んど第 2 波によるもので 2,900 万人(日本では流行性感冒と呼ばれ 39 万人)の尊い命を奪いました。この時、東京で 11 人の子供(16 歳から 0 歳)を育てていた歌人・与謝野晶子はパンデミックを通じ『死の恐怖』と題する随筆を書いて後世に伝えておりますので一部を紹介します。

「私は今、この生命の不安な流行病の時節に、何よりも人事を尽くして天命を持とうと思います。『人事を尽くす』ことが人生の目的でなければなりません。例えば、流行感冒に対するあらゆる予防と抵抗とを尽くさないで、むざむざと病毒に感染して死の手に攫取(かくしゅ)されるような事は魯鈍(ろどん)とも怠惰とも、卑怯(ひきょう)とも、云いようのない遺憾な事だと思います。予防と治療とに人為の可能を用いないで流行感冒に暗殺的に死を強制されてはなりません。今は死が私達を包囲して居ます。東京と横浜とだけで日毎に 400 人の死者を出して居ます。明日は私達がその不幸な番に当たるかも知れませんが、私達はあくまでも『生』の旗を押し立てながらこの不自然な死に対して自己を衛(まも)る)ことに聡明でありたいと思います。」1920 年 1/23

定例総会開催について

「緊急事態宣言」5 月末までの延長を受けて令和 2 年度定期総会は 6 月下旬を予定しておりますが再度「緊急事態宣言」の延期がなされた場合には各会員に「令和 2 年度西ヶ原三和自治会総会資料」を配布し、ご意見を頂くことを検討する予定ですのでご理解ください。また、開催する場合には「総会のお知らせ(委任状付き)」は 6 月中旬に会員の皆様にはポスティングにて配布し、欠席の場合の委任状は各担当の班長さん宅のポストに期日を設けて投函して頂く事を検討しておりますので暫くお待ちください。

西ヶ原三和自治会会長 伊藤秀夫